



インターコム電話番号の設定

次の項では、Cisco Unified Communications Manager の管理ページでのインターコム電話番号（DN）に関する作業と設定について説明しています。

- [インターコム電話番号の設定の概要（P.49-1）](#)
- [インターコム電話番号の検索（P.49-2）](#)
- [インターコム電話番号の設定（P.49-3）](#)
- [インターコム電話番号の設定値（P.49-5）](#)
- [関連項目（P.49-8）](#)

インターコム電話番号の設定の概要

Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用して、特定の電話機に割り当てるインターコム電話番号（DN）の設定および変更を行います。ここでは、インターコム電話番号の追加、削除、および更新について説明します。



(注)

インターコム電話番号には、パーティションが必要です。

追加情報

[P.49-8 の「関連項目」](#) を参照してください。

インターコム電話番号の検索

インターコム電話番号 (DN) を検索する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [コールルーティング] > [インターコム] > [インターコム電話番号] の順に選択します。

[インターコム電話番号の検索と一覧表示 (Find and List Intercom Directory Numbers)] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回の) クエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。

ステップ 2 データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、[ステップ 3](#)に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウン リスト ボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リスト ボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注) 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 表示されたレコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

[P.49-8](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

インターコム電話番号の設定

インターコム電話番号 (DN) を追加または更新する手順は、次のとおりです。電話番号を追加すると同時に、コール転送、コール ピックアップ、および MLPP の各電話機能を設定できます。



ヒント

インターコム電話番号にパターン (たとえば 352XX など) を割り当てることができます。インターコム電話番号にパターンを割り当てる場合は、ユーザが混乱しないように、インターコム電話番号設定フィールド ([回線のテキストラベル (Line Text Label)]、[表示 (Display、内線発信者 ID)]、および [外線電話番号マスク (External Phone Number Mask)]) にテキストや数字を追加します。これらのフィールドが特定の電話番号について表示されるのは、電話番号を追加し、さらに、その電話番号を電話機に関連付けた場合のみです。

たとえば、[回線のテキストラベル (Line Text Label)] と [表示 (Display、内線発信者 ID)] にはユーザの名前を追加し、[外線電話番号マスク (External Phone Number Mask)] には外部の回線番号を追加します。このようにすれば、発信情報が表示されるときに、「352XX」ではなく「John Chan」と表示されます。

手順

ステップ 1 [コールルーティング] > [インターコム] > [インターコム電話番号] の順に選択します。

[インターコム電話番号の検索と一覧表示 (Find and List Intercom Directory Numbers)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 特定のインターコム電話番号を見つけるには、検索条件を入力し、[検索] をクリックします。

検索条件と一致する電話番号のリストが表示されます。

ステップ 3 次のいずれかの作業を行います。

- 電話番号を追加するには、[新規追加] ボタンをクリックし、新しい電話番号を追加します。[インターコム電話番号の設定 (Intercom Directory Number Configuration)] ウィンドウが表示されます。



(注) [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウには、電話番号を追加するための代替方法が表示されます。[デバイス] > [電話] メニュー オプションを使用し、新しい電話機を作成するか、または既存の電話機を検索します。新しい電話機を作成するか、または既存の電話機を表示したら、[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウの左側の [割り当て情報 (Association Information)] 領域で、[回線 [1] - 新規 DN を追加] リンクまたは [回線 [2] - 新規 DN を追加] リンクをクリックします。[電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウが表示されたら、この手順の **ステップ 4** に進みます。

- インターコム電話番号を更新するには、更新するインターコム電話番号をクリックします。[インターコム電話番号の設定 (Intercom Directory Number Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 該当する設定値を更新します (表 49-1 を参照)。

ステップ 5 [保存] をクリックします。

ステップ 6 [リセット] をクリックします。詳細については、P.82-5 の「[電話機のリセット](#)」を参照してください。

**ヒント**

2 回線では足りない場合は、電話機タイプ (たとえば Cisco IP Phone モデル 7960 など) に対応する電話ボタン テンプレートを変更することによって、回線を増やすことができます。ただし、2 回線までしかサポートしていない電話機タイプ (Cisco IP Phone モデル 7902 など) もあります。

**(注)**

デバイスは、速やかに再起動してください。この再起動プロセス中に、ゲートウェイ上のコールがシステムによって終了される場合があります。

追加情報

P.49-8 の「[関連項目](#)」を参照してください。

インターコム電話番号の設定値

表 49-1 では、[インターコム電話番号の設定 (Intercom Directory Number Configuration)] ウィンドウで使用可能なフィールドについて説明します。

表 49-1 インターコム電話番号の設定値






フィールド	説明
[インターコム電話番号情報 (Intercom Directory Number Information)]	
[インターコム電話番号 (Intercom Directory Number)]	<p>ダイヤル可能な電話番号を入力します。この値には、数字とルートパターンのワイルドカード、および特殊文字 (.) と (@) を除く) を指定できます。</p> <p>入力する電話番号が、複数のパーティションに表示される場合があります。</p> <p> (注) JTAPI または TAPI アプリケーションでデバイスを制御したりモニタしたりする場合は、そのデバイスに同一の電話番号を持つ複数のインスタンス (パーティションは異なる) を設定しないでください。</p>
[ルートパーティション (Route Partition)]	<p>この電話番号が属するパーティションを選択します。[インターコム電話番号] フィールドに入力する電話番号が、選択したパーティション内で固有のものであることを確認してください。インターコム電話番号へのアクセスを制限しない場合は、パーティションを選択しません。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズパラメータを使用して、このドロップダウンリストボックスで表示するパーティションの数を設定することができます。Max List Box Items エンタープライズパラメータで指定した数よりも多くのパーティションが存在する場合、ドロップダウンリストボックスの横に [検索] ボタンが表示されます。[検索] ボタンをクリックして、[パーティションの検索と一覧表示 (Find and List Partitions)] ウィンドウを表示します。パーティションの検索条件のフィールドで、検索条件を選択し、パーティション名の一部を入力します。表示されたパーティションのリストで、指定したいパーティションの横にあるチェックボックスをオンにし、[選択項目の追加] をクリックします。</p> <p> (注) リストボックスの最大項目を設定するには、[システム] > [エンタープライズパラメータ] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p>
[説明 (Description)]	電話番号とルートパターンの説明を入力します。

表 49-1 インターコム電話番号の設定値 (続き)

フィールド	説明
[呼び出し表示 (Alerting Name)]	<p>発信者の電話機に表示させる名前 (警告名) を入力します。</p> <p>この設定は QSIG プロトコルの Identification Service をサポートし、共有および非共有の電話番号に適用されます。共有の回線表示を持つ電話番号に警告名を設定すると、着側 PINX で電話機の呼び出し音が鳴ったときに、システムが次の作業を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話番号に割り当てられた発信者の名前を転送します。 • トランスレーションパターン (制限がある場合) に設定された Connected Name Restrictions (CONR) を適用します。ルートパターン設定に応じて、発信 PINX が CONR を変更する場合があります。 <p>警告名を設定しない場合、発信者の電話機に「名前がありません」と表示される場合があります。[表示 (Display、内線発信者 ID)] フィールドに名前を入力しない場合、[呼び出し表示 (Alerting Name)] フィールド内の情報が [表示 (Display、内線発信者 ID)] フィールドに表示されます。</p>
[ASCII 呼び出し表示 (ASCII Alerting Name)]	<p>このフィールドには、[呼び出し表示 (Alerting Name)] フィールドと同じ情報を指定します。ただし、入力は ASCII 文字に制限されます。Unicode (国際化) 文字をサポートしないデバイスでは、[ASCII 呼び出し表示 (ASCII Alerting Name)] フィールドの内容が表示されます。</p>
[インターコム電話番号の設定 (Intercom Directory Number Settings)]	
[コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]	<p>ドロップダウンリストボックスから、適切なコーリングサーチスペースを選択します。コーリングサーチスペースは、この電話番号からコールされる番号を見つけるために検索されるパーティションの集合から構成されます。選択された値は、この電話番号を使用しているデバイスすべてに適用されます。電話番号のコーリングサーチスペースの設定情報については、P.49-7 の「[コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]」を参照してください。</p> <p>このフィールドに変更を加えると、[コールピックアップグループ (Call Pickup Group)] フィールドにリストされている番号が更新されます。</p> <p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「パーティションおよびコーリングサーチスペース」を参照してください。</p>

表 49-1 インターコム電話番号の設定値 (続き)

フィールド	説明
[プレゼンスグループ (Presence Group)]	<p>このフィールドには、プレゼンス機能を設定します。</p> <p>ドロップダウン リスト ボックスから、この電話番号のプレゼンスグループを選択します。選択されたグループでは、この電話番号を監視できるデバイス、エンドユーザ、およびアプリケーションユーザが指定されます。</p> <p>[プレゼンスグループ (Presence Group)] のデフォルト値は、インストール時に設定された [Standard Presence group] です。Cisco Unified Communications Manager の管理ページで設定されたプレゼンスグループもドロップダウン リスト ボックスに表示されます。</p> <p>プレゼンス認可は、プレゼンス グループと連携して、グループ間のプレゼンス要求を許可またはブロックします。グループ間の権限の設定については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「プレゼンス」の章を参照してください。</p>
[自動応答 (Auto Answer)]	<p>次のいずれかを選択し、この電話番号の自動応答機能をアクティブにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> [Auto Answer with Headset] [Auto Answer with Speakerphone] <p> (注) [Auto Answer with Headset] または [Auto Answer with Speakerphone] を選択する場合は、ヘッドセットまたはスピーカフォンが使用可能であることを確認します。</p> <p> (注) 共有回線を持つデバイスには自動応答を設定しないでください。</p> <p> (注) CTIPort デバイスのインターコム回線では、自動応答スピーカフォンおよび自動応答ヘッドセットは、自動応答がオンであるという意味になります。CTIPort デバイスには、スピーカフォンおよびヘッドセットのオプションは適用できません。回線が自動応答に対応していることを示すだけです。アプリケーションが CTIPort デバイスのメディアを終了させる必要があります。また、どちらの種類の出力デバイスでもメディアを終了させることができます。</p>

[コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]

Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するコーリング サーチ スペースの数を設定できます。Max List Box Items エンタープライズ パラメータで指定した数よりも多くのコーリング サーチ スペースが存在する場合、ドロップダウン リスト ボックスの横に [検索] ボタンが表示されます。[検索] ボタンをクリックして、[コーリング サーチ スペースの検索と一覧表示 (Find and List Calling Search Spaces)] ウィンドウを表示します。コーリング サーチ スペースの検索条件のフィールドで、検索条件を選択し、コーリング サーチ スペース名の一部を入力します。表示されたコーリング サーチ スペースのリストで、指定したいコーリング サーチ スペースの横にあるチェックボックスをオンにし、[選択項目の追加] をクリックします。



(注)

リストボックスの最大項目を設定するには、[システム] > [エンタープライズパラメータ] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。

追加情報

P.49-8 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- [インターコム電話番号の設定の概要 \(P.49-1\)](#)
- [インターコム電話番号の検索 \(P.49-2\)](#)
- [インターコム電話番号の設定 \(P.49-3\)](#)
- [インターコム電話番号の設定値 \(P.49-5\)](#)
- [インターコム電話番号の設定値 \(P.49-5\)](#)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「電話番号の概要」
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「電話番号の設定チェックリスト」
- [回線グループの設定 \(P.39-1\)](#)
- [割り当てられていない電話番号の削除 \(P.60-3\)](#)
- [ゲートウェイの設定 \(P.81-1\)](#)
- [電話機のリセット \(P.82-5\)](#)
- [電話機の検索 \(P.82-40\)](#)
- [Cisco Unified IP Phone の設定 \(P.82-3\)](#)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unified IP Phone」
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「電話機能」
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「電話機設定チェックリスト」
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unity Cisco Unified Communications Manager 統合メールボックス設定」
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unity と Cisco Unity Connection の設定チェックリスト」
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「プレゼンス」